

あとがき

今年の春は3月初旬が寒く、スギ花粉の飛散は予想より遅れ気味でした。関西ではスギ花粉の飛散は3週間ほどで、桜開花を迎えてヒノキ科花粉が猛威をふるったようです。珍しく入学式を満開の桜が飾ってくれました。祇園の梅と桜を一瞬交差して楽しめたのが正に早足でやってくる春の感激でしょうか。

さて、政治の世界はねじれ現象とか呼ばれて半年が過ぎましたが、何ら有効な手が打たれることなく年度末を迎え『ガソリン税』や『道路特定財源』、『地方交付税』など歳入に絡む話題が目白押しでした。国の歳入・歳出は、税収予想を下に組み立てられる話と従来の予算・決算の枠のなかで継続した事業性が相撲をとるようなことです。これらのことはわれわれが普通に家計とか小使いで行っていることですが、国や大学、病院レベルになるとどうも上手く行かないのはどうしてでしょうか？

1つは収入の伸びがわずかでも予想されているか、現実に獲得できるかがポイントです。しかし、これには大きな危険性があります。事業規模や継続性を見直しは減速時には取り組みやすいが、先の条件では守りが先行します。一方、収入が減少することが予想されるとき経営陣は安易に人件費の抑制を口にします。あるいは新規事業の抑制も同じことです。しかし、人件費抑制は経営者にとっては働く人の評価を自ら下げることですから、最終手段に匹敵します。また、収益が望めるか否かが新規事業の踏み込みを決めるものです。ここに経営者の苦悩があるわけでしょうが、その苦渋が語られていないことが悲劇ではないでしょうか？

医科大学や医学部の多くは収入が附属病院の経営に拠っています。学納金以外の収入は寄付金か病院収入です。病院収入は文科省の所轄ではありませんので、診療報酬など下世話（と思っている人もいます）な部分に依存するわけです。今、少子化が叫ばれて廃校になる大学があり、教育改革や大学財務改革が優先された時代背景があります。しかし、医療は国民のものであり、平時においては国そのものでもあります。医師を旨とする若人は枯渇することはないと思いますが、生命科学研究と医学は本質的に区別されるべきです。医学が医療のサイエンスであることを、五月の風とともに希望しています。

（高槻にて 竹中 洋）

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

小 田 恂

編集委員

八 木 聰 明

竹 中 洋

吉 原 俊 雄

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第80巻 第6号）

発 行 株式会社 医学書院

2008年5月20日発行（毎月1回20日発行）

代 表 者 金原 優

定価 2,730 円（本体 2,600 円＋税 5%）

〔2008 年年ぎめ予約購読料 39,950 円
増刊号を含む 13 冊，税込・送料小社負担〕

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710（担当 西塚・中田）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ICIS < (株)日本著作出版権管理システム委託出版物 >

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。